



図書館だより

NO.2

丸亀市立綾歌中学校 令和元年 5月号



新学期になってあっという間にひと月が過ぎ、さわやかな五月となりました。

今月は、中間テストや修学旅行、運動会練習と行事が目白押しで、忙しい一か月になりそうですね。心身ともにリフレッシュしたいなあと思ったら図書館をのぞいてみてください。

たんご 端午の節句（5月5日）

「端午」の「端」とは始まりという意味があり、もともと月の初めの午（昔の暦に使う干支の一つ）の日を節句として祝っていました。その後、旧暦の5月が午の月にあたることと、「午」は「五」と読めることから、5月5日が端午の節句となりました。

昔、中国では端午の日に、菖草の蓬で人形を作り、菖蒲酒を飲んで邪気を払っていました。その風習が奈良時代に日本にも伝わり、平安時代には蓬や菖蒲を家の軒にさしていたようです。「端午の節句」は、江戸時代になり年中行事の「五節句」の一つとして定められました。

JXTG 童話賞募集！

今年で50回目を迎える「JXTG 童話賞」が今年も実施されます。オリジナルの創作童話を募集していて、毎回たくさんの心温まる作品が寄せられています。みなさんもチャレンジしてみませんか！



内容：「心のふれあい」をテーマとした童話。

400字詰め原稿用紙5枚以内。



区分：一般・中学生・小学生以下



〆切：5月31日。



2019年 第16回本屋大賞決定!!

昨年一年間に刊行された日本の小説の中から、全国の書店員さんが“一番売りたい本”を選んだ「本屋大賞」が決定しました。みごと大賞に輝いたのは、瀬尾まいこさんの『そして、バトンは渡された』です。



大賞
『そして、バトンは渡された』
瀬尾まいこ（文藝春秋）

高校3年生の高宮優子には、5人の父と母がいます。17年間で家族の形は何度も変わりましたが、彼女はいつも家族を愛し、そして愛されていました。家族とは何かを考えさせられる感動作です。



2位
『ひと』
小野寺史宜（祥伝社）

父親が交通事故で亡くなった後、女手一つで自分を育ててくれた母も急死してしまい、たった一人になってしまった聖輔。ある日、お惣菜屋さんで見知らぬおばあちゃんにコロケを譲ったことで、見えなくなっていた未来に光が差します。



3位
『ベルリンは晴れているか』
深緑野分（筑摩書房）

1945年のベルリンが舞台。ドイツ人の少女アウグステは兵員食堂で働いていましたが、ある時、知り合いの男性が毒物によって死んでしまいました。アウグステは事件への関わりを疑われ始めます。



4位
『熱帯』
森見登美彦（文藝春秋）

読書会で見かけた『熱帯』という本は、なんと奇妙な本でした。「汝にかかわりなきことを語るなれ」という謎めいた言葉で始まります。秘密を知る女性は「この本を最後まで読んだ人間はいない」と言います。一体どんな秘密があるのでしょうか？



5位
『ある男=A MAN』
平野啓一郎（文藝春秋）

弁護士の城戸章良は、依頼者の女性から「ある男」についての奇妙な相談を受けます。その相談とは、「事故で亡くなった夫が全くの別人だった」という内容でした。衝撃の長編小説。



6位
『さざなみのよる』
木皿泉（河出書房新社）

43歳で亡くなった小国ナスミの死は、湖に落ちたしずくの波紋のように家族や友人、知人へと広がっていきました。命のまばゆさを描いた感動の物語です。



7位
『愛なき世界』
三浦しをん（中央公論新社）

洋食屋の見習いの陽太は、植物の研究一筋の大学生、紗英に恋をしました。紗英は三度のご飯よりもシロイヌナズナの研究が大好きでした。なんと陽太の恋のライバルは草だったのです。



8位
『ひとつむぎの手』
知念実希人（新潮社）

心臓外科医の祐介が所属する医局の教授が“論文をねつ造した”との告発文書が出回りました。祐介は教授に頼まれて犯人捜しをするうちに、予想もしなかった事態へと発展していきます。



9位
『火のないところに煙は』
芦沢央（新潮社）

「神楽坂を舞台に怪談を書きませんか」という突如の依頼を受けた作家の私は、過去に自分の身に起こった事件を小説にしようと思います。読み始めたら引き返せない、予測不可能なミステリーです。



10位
『フーガはユーガ』
伊坂幸太郎（美業之日本社）

風我と優我は双子の兄弟です。子ども時代は決して幸せではありませんでしたが、二人には他の人にはない特別な力が備わっていました。ちょっと不思議で、切ないお話です。



新しく買った本



〈単行本〉

魔術師の視線	本多孝好	きっときみに届くと信じて	吉富多美
麦本三歩の好きなもの	住野よる	放課後ひとり同盟	小嶋陽太郎
僕は上手にしゃべれない	椎野直弥	新章 神様のカルテ	夏川草介
君はレフティ	額賀濤	文豪ナンバーワン決定戦	福田和也
ラ・ブツン・エル	名木田恵子	こころきらきら枕草子 笑って恋して清少納言	木村耕一
いい人ランキング	吉野万理子	こころに響く方丈記 鴨長明さんの弾き語り	//
小説 映画ドラえもののび太の月面探査記	辻村深月	365 日の WONDER ブラウン先生の格言ノート	R・J・パラシオ
VS.こち亀 こちら葛飾区亀有公園前派出所ノベライズアンソロジー	石原宙	混物語	西尾維新
5分後に恋の結末 春が来たら泣くかもしれない	橘つばさ	5秒後に意外な結末 アポロンの黄色い太陽	桃戸ハル
5分後に感動のラスト	エプリスタ編	5分後に戦慄のラスト	エプリスタ編
5分後に涙のラスト	//	5分後に後味の悪いラスト	//
5分後に驚愕のどんでん返し	//	5分間で心にしみるストーリー	//
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 2~10	廣嶋玲子	意味が分かれると怖い話	藤白圭
メシが食える大人になる！よのなかルールブック	高濱正伸	神様がくれたピンクの靴 「奇跡のシューズをつくった小さな靴会社の物語	佐藤和夫
NASA より宇宙に近い町工場	植松努	デニムさん	今関信子
Mr.トルネード航空事故を激減させた気象学者藤田哲也	佐々木健一	日本懐かし即席めん大全	山本利夫
カルピスをつくった男 三島海雲	山川徹	金栗四三 オリンピック・パラリンピックにつくした人びと	佐野慎輔
15歳のコーヒー屋さん	岩野響	ことわざ生活 あっち篇 こっち篇	あかいわしゅうご
スイカのタネはなぜ散らばっているのか タネたちのすごい戦略	稲垣栄洋	いちご断面図鑑	わたなべまこ

南極ではたらく かあちゃん、調理隊員になる	渡貫淳子	東大ナゾトレ8	東京大学謎解き制作集団
水不足のサバイバル	スウィートファクトリー	湿地生物のサバイバル	洪在徹
火災のサバイバル	//	微生物のサバイバル1・2	ゴムドリ CO.
激流のサバイバル	//	チャレンジミッケ！ミッケがだいすき	ウォルター・ウィック

〈文庫本〉

君に恋をするなんて、ありえないはずだった	筏田かつら	空想科学読本 滅びの呪文で、自分が滅びる	柳田理科雄
とりこまれる怪談 あなたの本	緑川聖司	コンビニたそがれ堂1～5	村山早紀
よみがえる怪談 灰色の本	//	火焰の凶器	知念実希人
忘れていた怪談 闇の本	//	うちの執事が言うことには	高里椎奈
つながっていく怪談 呪う本	//		

